

三三〇三番

みさご居ゐる 渚すに居ゐる舟ふねの 漕こぎ出でなば うら恋こひ
しけむ 後のちは相あひぬ寝とも

三三〇四番

玉たまかづら 幸さいくいまさね 山やま菅すげの 思おもひ乱みだれて
恋こひつつ待またむ

三三〇五番

後おくれ居ゐて 恋こひつつあらずは 田た子この浦うらの 海あま人
ならましを 玉たま藻も刈かる刈かる

三三〇六番

筑つく紫し道ぢの 荒あり磯その玉たま藻も 刈かるとかも 君きみが久ひさしく
待まつに來きまさぬ